

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 60代	結腸癌 (肝転移,末梢 性ニューロパ チー,胃炎, 高血圧,高脂 血症,下痢, 不眠症,そう痒 症)	6mg/kg 2週間に1回 で計25回	<p>中毒性表皮壊死融解症</p> <p>投与36日前 他院にて大腸癌多発肝転移と診断され、当院受診。 投与23日前 腹腔鏡下にて原発巣切除し、ストマ造設。 投与5日前 多発肝転移の増大のため化学療法を計画。 投与開始日 1st lineとして、FOLFOX+本剤(1回目)併用療法開始(KRAS Wild Type)。 投与139日後 FOLFOX+本剤(9回目)投与。 投与155日後 2nd lineとして、本剤(10回目)単独にて投与(6mg/kg)。 投与369日後 本剤(25回目)投与。25回目投与以前に本剤による重篤な皮 (投与終了日) 膚障害は認めていない。 終了3日後頃 腹部、上背部、上肢にびらんを伴う紅斑が出現。 (発現日) 終了7日後 本剤による皮膚障害と診断し、オロパタジン内服、ステロイ ド外用剤(ジフルプレドナート、モメタゾン)処方。 終了14日後 びらん面拡大しており、重症度の多形紅斑と診断し、同日、 入院。ステロイド内服(ベタメタゾン・d-クロルフェニラミン) とクロベタゾール外用を開始。 終了20日後 びらん面に一部上皮化見られるも、体表面積換算にて30%以 上となっており、中毒性表皮壊死症に移行と判断。輸液開始。 終了21日後 血圧低下し、バイタルサインが急激に悪化。その後、死亡確 認(死因：中毒性表皮壊死症、剖検：無)。</p>	
併用薬：フルオロウラシル、ホリナートカルシウム、オキサリプラチン、メコバラミン、テルミサルタン、アムロジピンベシル酸塩、クロピドグレル硫酸塩、アスピリン、イコサペント酸エチル、酪酸菌配合剤、ゾルピデム酒石酸塩、フェキソフェナジン塩酸塩、ランソプラゾール					